

# 安 全 情 報

No 17 / 2015

## 警察に対する連続襲撃事件

9月25日(金)から27日(日)にかけて、バルータ市警察、ミランダ州警察等、ベネズエラ国内の5ヶ所の警察署施設等が、犯罪者集団に襲われました。犯罪者集団は、襲撃の際、手榴弾や自動小銃を使用するなど、その犯行は、さらに過激化しております。現在のカラカス首都圏は、治安の悪化が著しく、警察も犯罪者等を押さえ込むことができないのが現状です。つきましては、下記をご参照頂き、外出の際は、十分な注意をお願いします。

### 記

#### 1 事件概要

##### (1) カラボボ州マリアラ市C I C P C (内務司法警察) 支署

9月25日(金)午後7時45分頃、カラボボ州マリアラ市のC I C P Cの支署に対し、数名の犯罪者集団が銃を発砲しながら、3発の手榴弾を投げつけるなどして襲撃しました。しかし、警察側が激しく抵抗したため、犯罪者集団は施設内に入ることができずに撤退し、双方に負傷者はありませんでした。

##### (2) カラカス首都圏スクレ市C I C P C (内務司法警察) 支署

9月26日(土)午前3時30分頃、カラカス首都圏スクレ市ペタレ地区にあるC I C P Cエル・ジャニト支署に対し、二人組の男が手榴弾を投げつけました。死体安置所等の施設に被害が出ましたが、負傷者等はありませんでした。

##### (3) バルータ市警察 (検問中)

9月27日(日)午前3時15分頃、バルータ市ラス・メルセデス地区エルロサル橋架下の道路上(プリンシパル・デ・ラス・メルセデス通り)で、検問を行っていたバルータ市警察官等に対し、バイクに乗り武装した50名から60名の犯罪者集団が、橋架上から手榴弾数発を投げつけました。これにより、重傷者1名を含む8名の警察官が負傷し、同検問場所に居合わせた一般人4名も負傷しました。

##### (4) ミランダ州警察

9月27日(日)夜、バイクに乗った上述(3)と同一と思われる犯罪者集団が、スクレ市ウルピナ地区にあるミランダ州警察本部に対し、手榴弾を投げつけましたが、負傷者等はなく建物にも大きな被害はありませんでした。ミランダ州警察本部が手榴弾で襲われたのは、今年2回目となります。

##### (5) グアリコ州警察

9月27日(日)午後2時頃、バイクに乗車した二人組の犯人が、グアリコ州サン・ファン・デ・ロス・モロス市にあるグアリコ州警察本部に対し手榴弾を投げつけ、パトカー2台等を破壊しました。犯人のうち、1名は18歳の少年でしたが、その場で逮捕されま

した。

## 5 参考事項

- (1) カラカス首都圏では、今年に入り、犯罪者集団が手榴弾を使用して警察署を襲撃する事件が15件発生しており、その結果、死者15名（警察官4名，一般人11名），負傷者50名（警察官17名，一般人33名）の被害が出ています。犯罪者集団は、手榴弾だけでなく自動小銃を使用するなど、警察の装備を上回っており、銃撃戦のたびに警察側に甚大な被害が生じています。
- (2) パルータ市のラス・メルセデス地区は、各国大使館が所在する比較的安全な地域と言われていましたが、最近はこの地区からの犯罪者が流入し、治安が悪化しています。同地区に入る際は、単独行動や深夜早朝の移動を控えるなど防犯対策を講じて下さい。
- (3) 深夜早朝の高速道路や国道を含む大通りは、武装した犯罪者集団が、バイク等で頻繁に移動しています。警察のパトカーですら襲撃を受けることもあることから、車両であっても深夜早朝の外出は控えて下さい。